

デジタル・トランスフォーメーションの成功に欠かせない5つの要素

デジタル・トランスフォーメーション・プロジェクトが失敗する原因は往々にして、テクノロジーに関心を向ける一方で、人やプロセスに同程度の注意を払っていないことにあります。このチェックリストでは、5つの重要な要素を念頭に置いてテクノロジーへの投資を計画することが、どのように失敗の回避とポジティブな成果の創出に役立つかを紹介します。

デジタル・トランスフォーメーションの取り組みを成功させるための要素は、リーダーシップ、製品、開発、アーキテクチャ、運用の5つです。1つでも要素が不足すると、デジタル・トランスフォーメーション・プログラムの価値の低下やプログラム全体の失敗につながる場合があります。各要素の機能を構築する際には、テクノロジーだけでなく、人とプロセスにも注意を払いましょう。

これらの分野で能力を高められる組織は、進化するニーズにより迅速に適応し、ユーザーの満足度を高めることができます。

1 リーダーシップを奨励する

- ▶ **実験とコラボレーションの文化を促進する**：透明性がある率直なコミュニケーションを奨励し、共通の目標を作成します。
- ▶ **推奨される行動に報酬を与える**：
 - ▶ 共通の目的とビジョンを作成する
 - ▶ 指揮系統を通じて、実際の作業担当者に決定事項を伝える
 - ▶ 部門間の不要な障壁をなくす
 - ▶ 継続的な学習に投資し、奨励する
 - ▶ 人の失敗を非難したり、罰したりしない文化を育む

2 製品を重視する

- ▶ **プロジェクトよりも製品を重視する**：計画が完了するとプロジェクトは停止しますが、製品はニーズの変化にともなって進化し続けます。
- ▶ **製品を実験として扱う**：仮説を立て、それをテストするためのプロトタイプを作成します。
- ▶ **素早く頻繁に失敗し、常に学び続ける**：製品がユーザーの希望どおりに機能しない場合、あるいはあまりにも使いにくい場合は、別の実験を試みます。

3 開発を革新する

- ▶ **他のチームやユーザーへの共感を持つ**：決定による結果が明確になるように、チーム間のコミュニケーションを奨励します。
- ▶ **迅速なフィードバックを目指す**：過剰な設計をせずに、実用最小限の製品 (MVP) をすばやく作成します。
- ▶ **好奇心と探究心の文化を育成する**：スキルを伸ばせる機会と、問題を創造的に解決する自由を与えます。
- ▶ **技術力の追求、テスト、継続的インテグレーションに取り組む**：コードの品質とスループットを向上させるため、テストとデプロイのパイプラインを自動化しましょう。

4 強固なアーキテクチャを構築する



- ▶ **コスト、パフォーマンス、失敗の間でバランスを取り、そのトレードオフを慎重に行う：**たとえば、漸進的にパフォーマンスを向上させていくことは非常にコストがかかる場合があります。ユーザーが求める以上のパフォーマンスを目指した過剰な開発は避けましょう。
- ▶ **イベント駆動型アーキテクチャを作成する：**サービスメッシュ、サーキットブレーカーパターン、キャッシング、サービスディスカバリーなどのマイクロサービス技術のスキルを開発するか、熟練したパートナーと連携しましょう。
- ▶ **標準化されたサービスでアーキテクチャを実行する：**標準化が適用されれば、開発者は設計パターンではなくドメインロジックに集中できます。さらに、標準化されたインストルメンテーションを使用して、リアルタイムのパフォーマンスメトリクスを報告し、トラブルシューティングを単純化できます。

5 運用を維持する



- ▶ **開発者とプロダクトマネージャーへの共感を育む：**運用がサポートできないプロジェクトやタイムラインを拒絶するのではなく、開発チームや製品チームと緊密に連携して、受け入れられるソリューションを考え出します。
- ▶ **障害検出と障害判別のメカニズムを実装する：**監視は信頼性の基盤です。
- ▶ **インシデントを修復および防止するための技術的な理解を深める：**オペレーショナル・エクセレンスを実現するには、サービスの停止を最小限に抑えながら本稼働中のシステムのインシデントに対応する機能と判断力が必要です。非難ではなく学習を目的として、インシデント後の分析を行います。

さらに詳しく

このチェックリストで説明している行動や実践を、信頼できるソフトウェア・サプライチェーン (TSSC) がどのように可能にし、加速させ、実行しているかについて詳しくは、「[デジタル・トランスフォーメーションの失敗を回避する](#)」をお読みください。

今すぐ始める

これらの 5 つの要素をデジタル・トランスフォーメーション・プロジェクトに組み入れるためのガイダンスについては、[Red Hat® コンサルティング](#)までお問い合わせください。



RED HAT について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、Fortune 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

0120 266 086
03 5798 8510

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
#F24604_0720

Copyright © 2020 Red Hat, Inc. Red Hat, および Red Hat ロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。